

平成31年度一般会計予算

修正案を賛成多数で可決

宿泊施設の建設 一からの議論に

今議会に提案された当初予算に修正動議が提出され、修正案が可決された。

修正箇所は、歳入歳出予算の内、歳出では、商工費を宿泊施設関連予算4億6200万円減額して、2億7232万円に。歳入では、町債を4億7300万円減額し、8億3680万円とし、その差額は、基金繰入金を1100万円増額し、11億5073万円とするもの。これにより歳入歳出の合計では、それぞれ4億6200万円の減額の98億1800万円とするもの。

可決(多数)

●平成31年度黒潮町一般会計予算に対する修正動議

議

提出議員

森 治史

提出議員

小永 正裕



趣旨 本町が所有する大方球場や県が所有するサッカー場やテニスコート等の施設、また、民間施設のゴルフ場などを観光資源として行ってきたスポーツツーリズム誘致の取り組みが大きく成果を挙げ、近年当町への入り込み客数および宿泊者数が大幅に増加している。

一方、現在、町内で旅館

しかし、町内の既存宿泊施設の収容人数の制限や形態などにより、宿泊数の約30%は近隣市町村に流出している。

こうした流れを防ぐために、有利な起債を活用して公設宿泊施設の建設を行い、現在町内で旅館業を営む方々と競合しないように、価格帯あるいは客層および宿泊形態によつて町内ですみ分けをしながら、更に誘客を促進し、地域経済の活性化を目指すことは、非常に有意なことと考える。

業を営む方々が、これまでごひいきのお客様がこの施設に移るのではと、不安を抱かすようなことになってはいけない。産業建設厚生常任委員会で審査終了後に関係者の方たちの中には、まだいろいろなお意見があることが判明した。委員長は報告では可決だが、その後の状況変化も勘案し、関係者の皆様が一丸となって観光事業に取り組めるように調整し、再度ご提案を頂いた方が良いと考える。

討論

原案に賛成

小松 孝年議員

宿泊客町外流出を防ぐ施設が必要



私は、こういった公設型の施設を望んで、今まで一般質問で提案・要望してきた。

この施設の目的は、スポーツツーリズムにより増えた外国人や、プロ集団、社会人集団が宿泊できる施設が町内にあまりなく、町外に流れていた宿泊客を取り込むためのもの。

今回、有利な交付税措置もあり、いいタイミングだったと思う。

しかし、いろんな手続きがしつかりできてなかったというのは少し残念だったが、私からも提案していたので、賛成する。

修正案に賛成

森 治史議員

皆の合意の上で取り組むべき

造るのであれば、既存の業者さん、それからいろいろな業種の方々と円満にやっていくべきだと思う。

せつかくの事業なのだから、一端、この予算を修正し、関係者の皆さんと話し合いをされて、皆さんが一丸となって取り込む方が、後々しこりが残らないと思い、この修正案に賛成する。



スポーツツーリズムでにぎわうサッカー場